

第8回(令和元年度 第2回)
和泉市立総合医療センター 経営評価委員会

次 第

日 時：令和元年11月18日(月)午後2時00分～
場 所：和泉市立総合医療センター 3階 講堂

1. 開 会

2. 議 題

- ①令和元年度 運営状況(4月～9月)について … (資料1)
- ②令和元年度 進行管理(PDCA)チェックシート
兼経営評価シートについて … (資料2)

<資 料>

委員・出席者名簿

資料1 和泉市立総合医療センター運営事業 令和元年度 運営状況
(4月～9月)

資料2 令和元年度 進行管理(PDCA)チェックシート兼経営評価シート
(対象期間:平成31年4月1日～令和元年9月30日)

<参考資料>

参考資料1 和泉市消防本部 救急搬送件数(4月～9月)

参考資料2 診療科別 紹介患者数(4月～9月)

参考資料3 診療科別単価 前年度比較(4月～9月)

参考資料4 府下公立病院との比較

和泉市立総合医療センター運営事業
令和元年度
運営状況(4月～9月)

目 次

1. 令和元年度 事業計画	1
2. 医療機能に係る指標	1
1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分	
①患者数の前年度実績との比較	
②月別1日あたり患者数の推移(入院)	
③月別1日あたり患者数の推移(外来)	
④診療科別1日あたり患者数(入院)(4月～9月)	
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月～9月)	
⑥病床利用率(4月～9月)	
⑦診療単価(4月～9月)	
⑧救急患者受入数(4月～9月)	
⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～9月)	
2. その他、医療機能に係る指標	
①平均在院日数(4月～9月)	
②紹介率、逆紹介率(4月～9月)	
③手術件数(4月～9月)	
④健診(4月～9月)	
⑤医療事故等への対応(4月～9月)	
3. 職員数	8
①職員数の推移(非常勤職員含む)	
4. 患者サービス向上に係る取り組み	9
①取り組み状況	
②提案ポストへの投書件数	
5. 患者アンケート	10
①入院患者アンケート	
②外来患者アンケート	
6. 経営健全化に係る指標	12
①損益計算書(4月～9月)	
②貸借対照表	

1. 令和元年度 事業計画

- ・主な取り組み
 - 常勤医師を97名に増員。積極的に研修医を受け入れ人材育成に取り組む。
 - 人間ドックの予約枠拡大を図る。
 - 高機能手術室の整備により医療機能強化を図る。
- ・1日あたり患者数
 - 入院 292名(退院日の患者数を含む)
 - 外来 890名

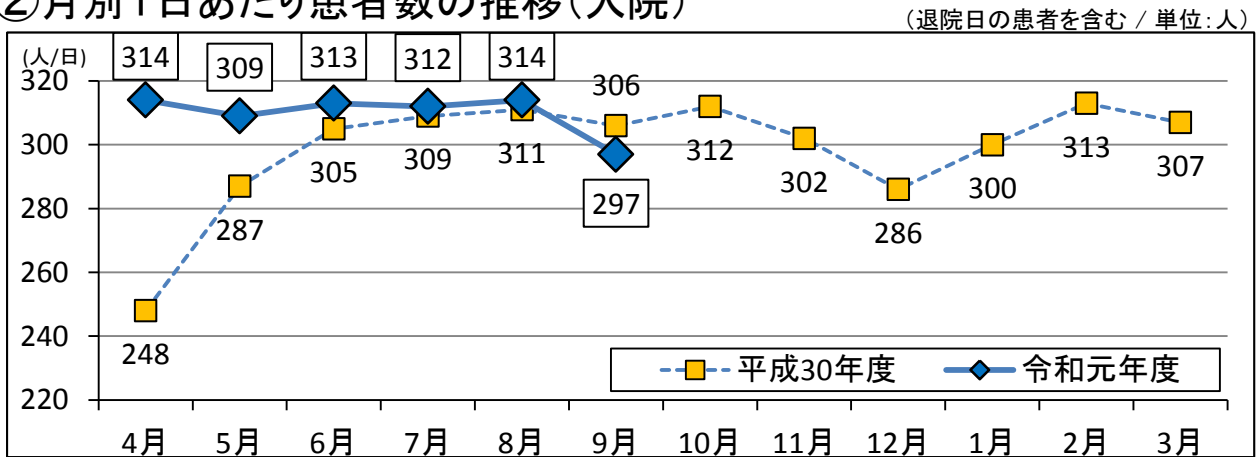
2. 医療機能に係る指標

1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分

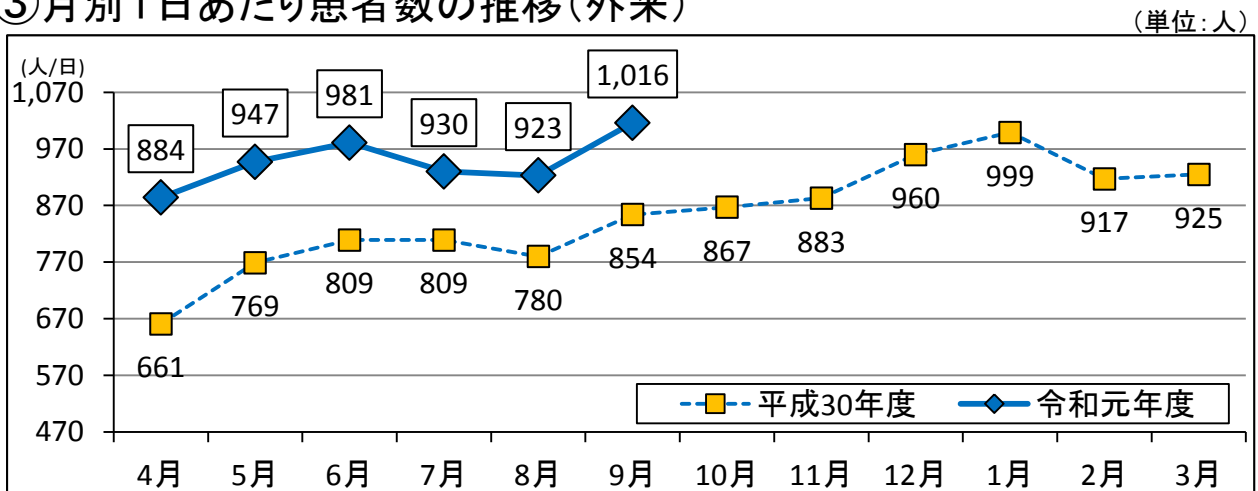
①患者数の前年度実績との比較

	実績(4月～9月分)			令和元年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)
	令和元年度	平成30年度	比較(増減率)	
1日当たり入院患者数 (退院日の患者を含む)	310人	294人	16人 (+5.4%)	292人
1日当たり外来患者数	945人	780人	165人 (+21.2%)	890人

②月別1日あたり患者数の推移(入院)



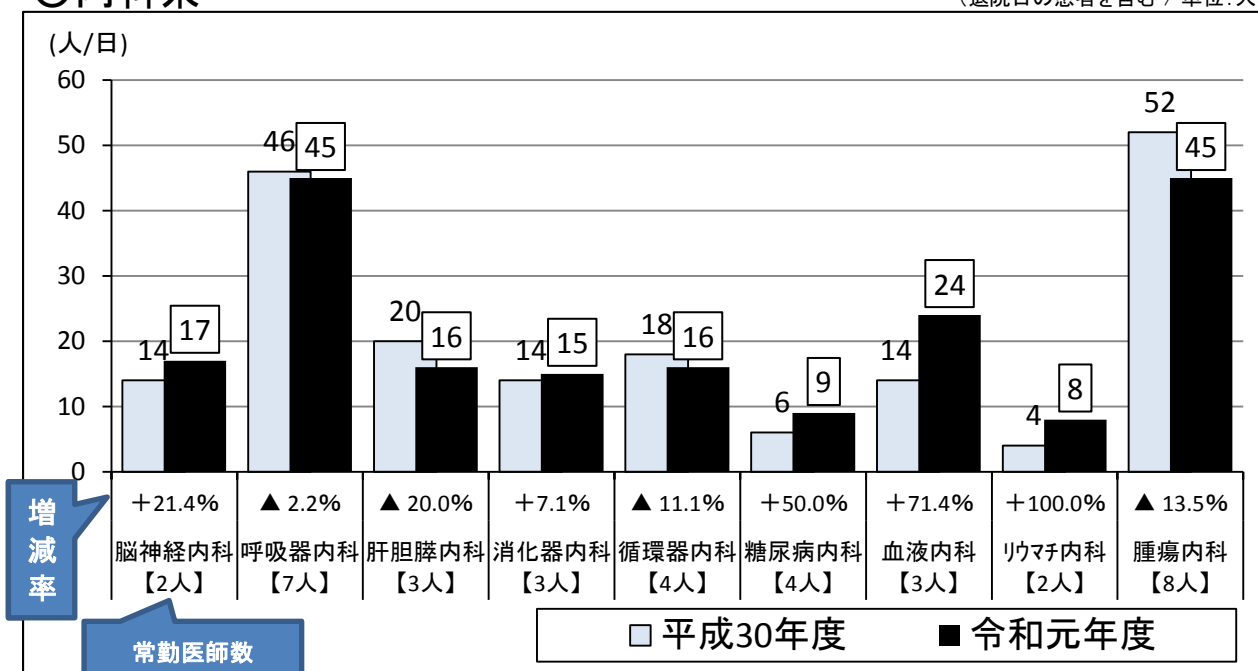
③月別1日あたり患者数の推移(外来)



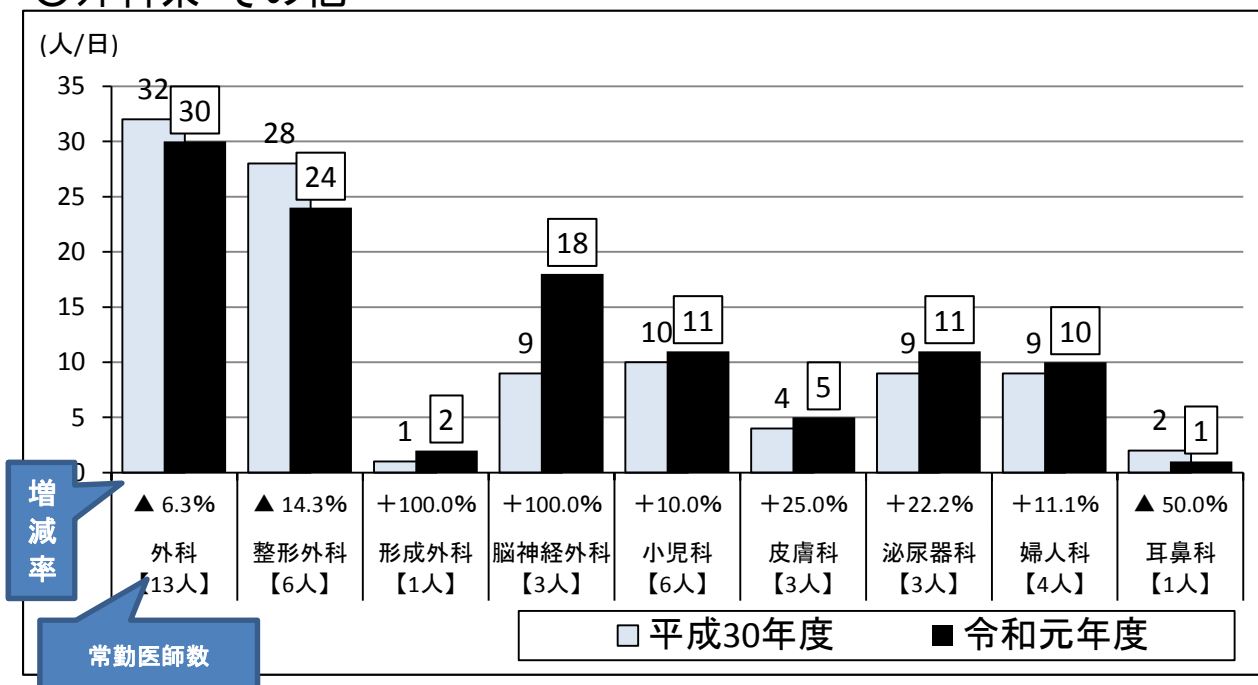
④診療科別 1日あたり患者数(入院)(4月～9月)

○内科系

(退院日の患者を含む / 単位:人)



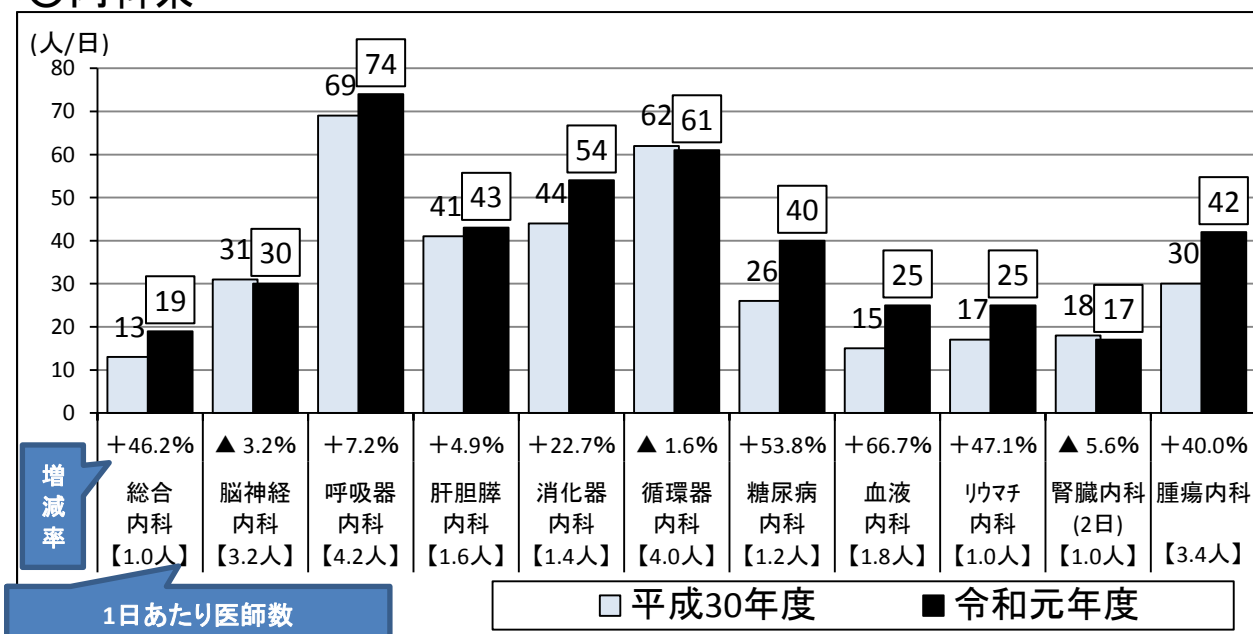
○外科系・その他



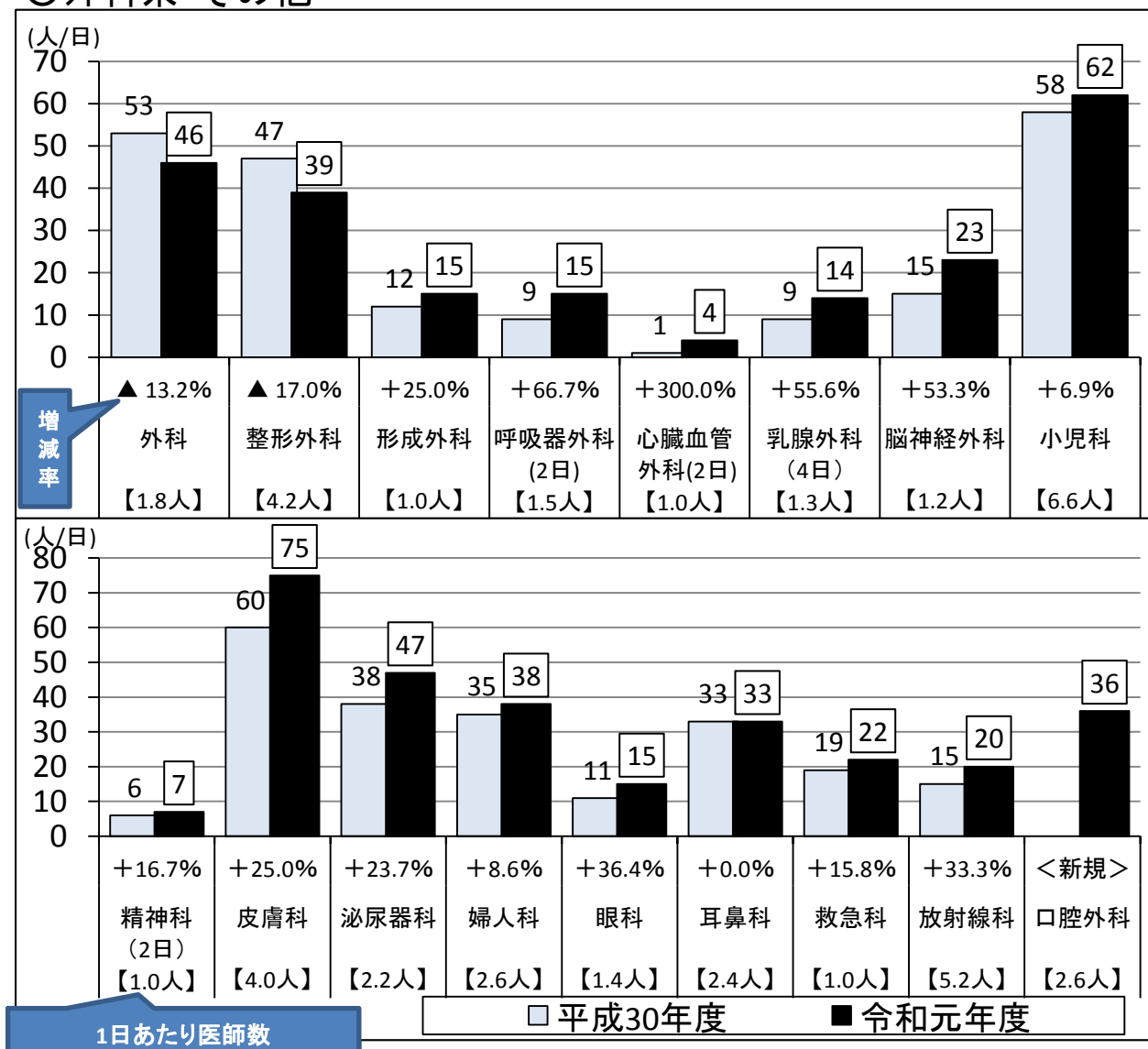
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月～9月)

(単位:人)

○内科系



○外科系・その他



※診療日が5日未満の診療科は、実診療日にて算出しています。

⑥病床稼働率(4月～9月)

(単位:人、床、日、%)

年度	稼働率	新改革プラン 目標値	延患者数 ÷ (許可病床数 × 日数) × 100
令和元年度	100.9 %	95.0 %	56,693 ÷ (307 × 183) × 100
平成30年度	95.8 %		53,849 ÷ (307 × 183) × 100

⑦診療単価(4月～9月)

	実績			令和元年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)
	令和元年度	平成30年度	前年度比較 (増減率)	
入院診療単価 (退院日の患者を含む)	59,466円	55,106円	4,360円 (+7.9%)	59,961円
外来診療単価	18,761円	15,849円	2,912円 (+18.4%)	16,500円

⑧救急患者受入数(4月～9月)

(単位:人、%)

診療科	実績		前年度比較 (増減率)	実施状況
	令和元年度	平成30年度		
小児科	1,896	1,726	+170 (+9.8)	毎週火曜日19:00～翌6:00 第2,4,5土曜日23:00～翌6:00
内科系 外科系	5,508	5,003	+505 (+10.1)	終日実施
合計	7,404	6,729	+675 (+10.0)	
搬送者数	1,816	1,713	+103 (+6.0)	
搬送者の うち入院	571 (31.4%)	530 (30.9%)	41 (+7.7)	

⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～9月)

(単位:人、%)

区分	令和元年度	搬送率	平成30年度	搬送率	前年度比較 (増減率)	令和元年度 新改革プラン 目標値	搬送率
和泉市立 総合医療センター	1,201	26.3	1,143	25.5	+58 (+5.1)	2,600 (年間)	28.9 (年間)
市内民間病院	1,847	40.4	1,970	43.9	▲123 (▲6.2)		
市 外	1,523	33.3	1,373	30.6	+150 (+10.9)		
合計	4,571		4,486		+85 (+1.9)		

(和泉市消防本部統計より)

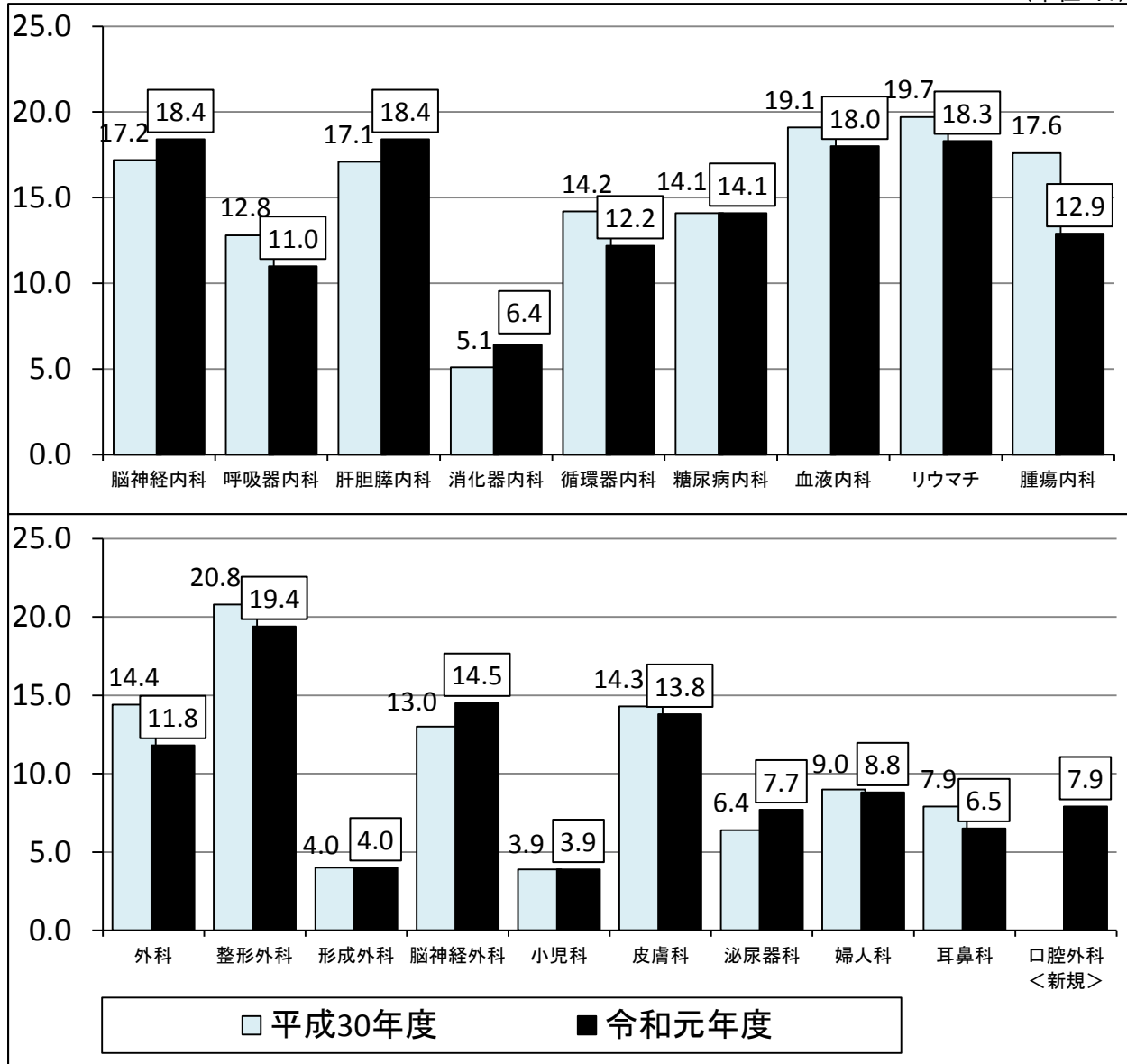
2. その他、医療機能に係る指標

① 平均在院日数(4月～9月)

(単位:日)

	R1	H30	増減
全診療科平均	11.5	12.2	▲ 0.7

(単位:日)



②紹介率、逆紹介率(4月～9月)

(単位:人)

	年度	実績	($\frac{\text{初診紹介患者} + \text{救急搬送}}{\text{初診患者数}} \times 100$)		
紹介率	令和元年度	65.7%	(4,519 + 1,816)	÷ 9,649	× 100
	平成30年度	60.8%	(6,266 + 1,705)	÷ 13,108	× 100
	年度	実績	逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 × 100		
逆紹介率	令和元年度	57.5%	5,547	÷ 9,649	× 100
	平成30年度	32.0%	4,197	÷ 13,108	× 100

③手術件数(4月～9月)

(単位:人、%)

指 標	令和元年度	平成30年度	差	増減率(%)	
	うち全麻	うち全麻	うち全麻	うち全麻	
手術者数	外科	394 <small>289</small>	352 <small>306</small>	+42 <small>▲17</small>	+11.9 <small>▲5.6</small>
	整形外科	211 <small>192</small>	241 <small>219</small>	▲30 <small>▲27</small>	▲12.4 <small>▲12.3</small>
	婦人科	124 <small>101</small>	109 <small>82</small>	+15 <small>+19</small>	+13.8 <small>23.2</small>
	皮膚科	84 <small>4</small>	77 <small>6</small>	+7 <small>▲2</small>	+9.1 <small>▲33.3</small>
	形成外科	176 <small>36</small>	96 <small>25</small>	+80 <small>+11</small>	+83.3 <small>皆増</small>
	泌尿器科	182 <small>17</small>	173 <small>29</small>	+9 <small>▲12</small>	+5.2 <small>▲41.4</small>
	脳神経外科	56 <small>33</small>	27 <small>14</small>	+29 <small>+19</small>	+107.4 <small>135.7</small>
	耳鼻科	2 <small>0</small>	20 <small>16</small>	▲18 <small>▲16</small>	▲90.0 <small>▲100.0</small>
	歯科口腔外科	37 <small>36</small>	0 <small>0</small>	+37 <small>+36</small>	新設 <small>皆増</small>
	計	1,266 <small>708</small>	1,095 <small>697</small>	+171 <small>+11</small>	+15.6 <small>1.6</small>

④健診(4月～9月)

(単位:人、%)

指 標	令和元年度	平成30年度	差	増減率
人間ドック	742	358	384	+107.3%
特定健診	908	900	8	+0.9%

⑤医療事故等への対応(4月～9月)

○レベル別件数

(単位:件)

	レベル	職種	R1	H30	事例(本年度)
インシデント	0～3a	医師	32	42	薬剤関連(過剰内服、過少投与、投与時間間違い、無投薬等) 転倒転落 ルートトラブル(自己抜去、血管外漏出等) 医療機器点検不足 検査関連(検体間違い、取扱間違い等) その他(書類不備、システム不具合等)
		看護師	757	557	
		薬剤師	37	34	
		放射線技師	57	48	
		臨床検査技師	19	8	
		リハビリ	10	13	
		その他	25	23	
計	937	725			
アクシデント (医療事故)	3b	医師	5	2	転倒骨折(顎、腰椎、上肢) 転倒後慢性硬膜下血腫 合併症(処置、手術等) 内服指示の不備 リハビリ時肩脱臼 嚥下リハ中誤嚥
		看護師	5	7	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	1	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	2	0	
		その他	0	1	
	計	12	11		
	4a～5	医師	0	1	
		看護師	0	0	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	0	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	0	0	
		その他	0	0	
	計	0	1		
	計 (3b～5)	医師	5	3	
看護師		5	7		
薬剤師		0	0		
放射線技師		0	1		
臨床検査技師		0	0		
リハビリ		2	0		
その他		0	1		
計	12	12			

※その他内訳:栄養科、ME

○種類別件数(4月～9月)

(単位:件)

概要	R1	H30	増減
薬剤	297	250	47
輸血	6	5	1
治療・処置	58	45	13
医療機器等	22	20	2
ドレーン・チューブ	74	41	33
検査	135	124	11
療養上の世話	238	151	87
その他	119	101	18
合計	949	737	212

(参考) 医療事故レベル

インシデント	0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
	1	患者への実害はなかった(何らかの影響は与えた可能性は否定できない)
	2	処置や治療行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性が生じた)
アクシデント	3a	単純な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	4a	永続的な障害が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない
	4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針 に準じる

3. 職員数

①職員数の推移(非常勤職員含む)

■職員数の推移

(単位:人)

	R01.10	H31.4	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4
医師	111.70	110.45	86.10	60.79	54.85	54.17
常勤	99	97	82	54	48	47
非常勤 (常勤換算)	117 (12.70)	113 (13.45)	25 (4.10)	70 (6.79)	74 (6.85)	79 (7.17)
看護部	313.30	310.93	273.30	209.94	209.87	198.65
常勤	294	292	247	189	188	169
非常勤 (常勤換算)	28 (19.30)	26 (18.93)	30 (26.30)	26 (20.94)	27 (21.87)	38 (29.65)
医療技術職	111.50	116.10	81.41	66.32	53.36	48.41
常勤	108	113	78	62	50	46
非常勤 (常勤換算)	7 (3.50)	6 (3.10)	6 (3.41)	7 (4.32)	6 (3.36)	4 (2.41)
合計	536.50	537.48	440.81	337.05	318.08	301.23
常勤	501	502	407	305	286	262
非常勤 (常勤換算)	152 (35.50)	145 (35.48)	61 (33.81)	103 (32.05)	107 (32.08)	121 (39.23)

※ 看護部は看護師免許取得者のみ。

※ 常勤換算人員は $\frac{\text{勤務時間}}{7.5 \text{ 時間}} \times \frac{\text{月間勤務日数(常勤)}}{21.67 \text{ 日}}$

■常勤医師の状況

(単位:人)

	R01.10	H31.4	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4
内科			1			
循環器内科	4	4	5	5	4	4
呼吸器内科	7	7	5	5	6	5
消化器内科(内視鏡)	3	4	5	2		
肝胆膵内科	3	2	3	3	4	4
血液内科	5	4	3			
内分泌・糖尿病内科	4	4	2			
脳神経内科	2	2	3			
腫瘍内科	8	8	5	7	4	4
緩和ケア内科	1	1	1			
外科	13	11	9	4	5	5
消化器外科	8	6	4			
心臓血管外科	1	1	1			
乳腺外科	1	1	2			
呼吸器外科	3	3	2			
形成外科	1	1	1			
整形外科	6	6	6	6	6	5
小児科	6	6	6	6	5	5
脳神経外科	3	3	2	0	1	1
泌尿器科	4	4	3	1		
皮膚科	3	3	2	2	2	2
婦人科	4	4	4	4	4	4
耳鼻いんこう科	1	1	2			
リウマチ内科	3	3	2			
放射線科	5	6	5	4	4	5
麻酔科	4	4	2	2	2	2
精神科	1	1				
病理診断科	1	1	1	1	1	1
歯科口腔外科	2	2				
前期研修医	5	5	4	2		
	99	97	82	54	48	47

4. 患者サービス向上に係る取り組み

①取り組み状況

取り組み	時期	主な内容
出前講座・医療講演 【継続】	4月～	市民の要望に応じて医師等が地域へ出向き、成人病対策やこどもの疾患等を分かりやすく説明し、健康づくりの一助としていただいた。
和泉市在宅医療・介護連携コーディネート事業 【継続】	4月～	地域の医療(介護)機関が連携することにより、包括的かつ継続的な在宅医療(介護)を提供できるような地域の専門職の相談窓口となる。
夏休み病院見学ツアー 【継続】	8月	中高生を対象に救急処置室における患者対応や医療機器を紹介し、病院への理解を深めていただいた(中・高校生9人、保護者9人参加)。
地域医療連携推進の会 【継続】	11月	令和元年11月2日(土)に地域の医療機関との連携会を開催。地域の医療機関への情報提供を継続実施する。
世界糖尿病デー ～しっかり知って未来につなぐ～ 【新規】	11月	令和元年11月14日(木)午後2時から、世界糖尿病デーにあわせ、糖尿病について知っていただくためのイベントを開催。
災害時医療訓練 【新規】	11月	令和元年11月23日(祝)に災害訓練を実施。医療センター内の災害時の外来・入院患者への対応、トリアージ訓練を行う。

②提案ポストへの投書件数

(単位:件)

区 分	令和元年度	平成30年度	内容例
総件数	147	105	
お 礼	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中、親切な声かけがあり、安心できた。 ・手術前、冷たい手をさすってくれた。 ・医師が難病を見つけてくれ、親身になってくれた。
苦情・要望等	133	104	
設 備	67	47	<ul style="list-style-type: none"> ・待合室等の室温設定が高い、低い。 ⇒温度計を設置し、室温管理していく。 ・休日退院時にTVカードの精算場所が分からない。 ⇒夜間窓口前に精算機1台移動。職員周知。 ・車椅子用トイレにバッグ等を入れる棚が欲しい。 ⇒籠を導入。 ・駐車場が混雑している。 ⇒状況調査済、改善に向けて検討中。 ・待合室にテレビを ⇒2階、3階外来前にあることを案内。
接 遇	39	19	<ul style="list-style-type: none"> ・他院からの転院の際、正面玄関でストレッチャーに乗せられたまま待たされた。 ⇒患者の環境を最優先するよう徹底する。 ・対応の悪い職員がいた。 ⇒各部署で個人指導 ⇒師長会で事例紹介、教育徹底を指示。
その他	27	38	<ul style="list-style-type: none"> ・食事にバリエーションを。 ⇒栄養科で検討する。 ・無料送迎バスの増便を。 ⇒5月1日から増便。和泉府中駅から医療センターへの便は5便/日から10便/日に増便。 ・予約時間が14時～16時では不便。 ⇒予約センター開設。受付時間を12時～16時に拡大。

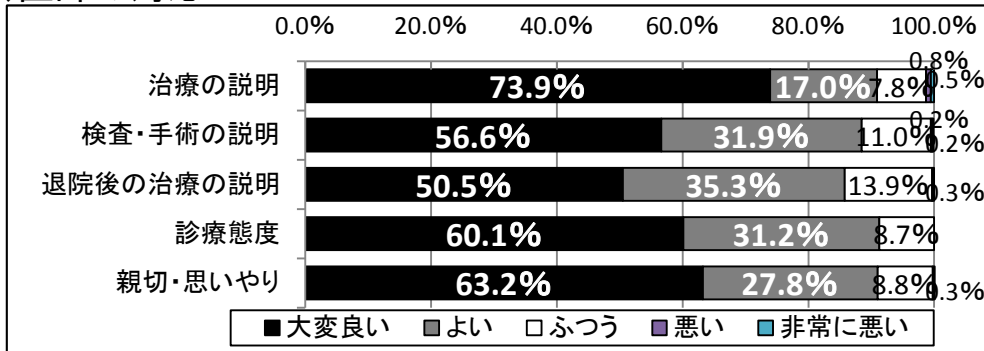
5. 患者アンケート

①入院患者アンケート

- ・実施期間 令和元年8月
- ・回答者数・平均年齢 400件 60.5歳
- ・アンケート結果の一部(満足度に関する項目)

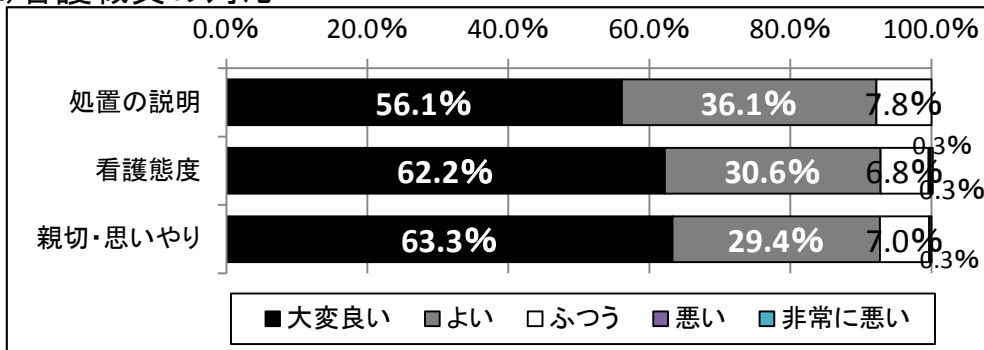
※H30アンケート未実施のためH29と比較

(1)医師の対応



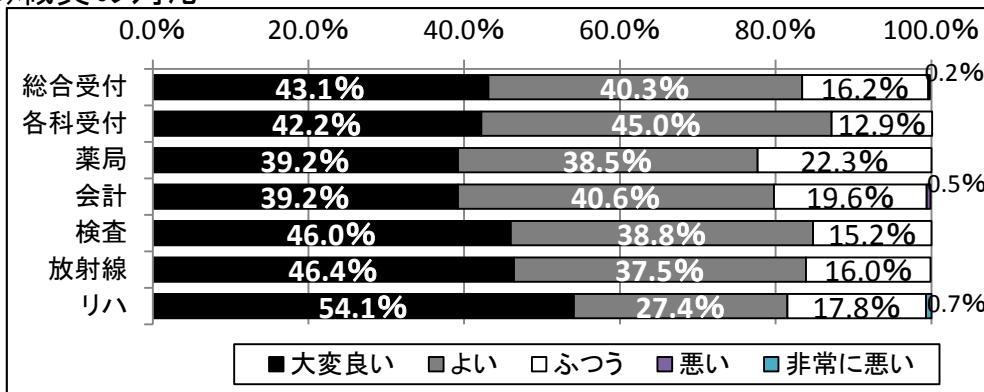
「よい」以上
令和元年度
89.5%
平成29年度
87.9%

(2)看護職員の対応



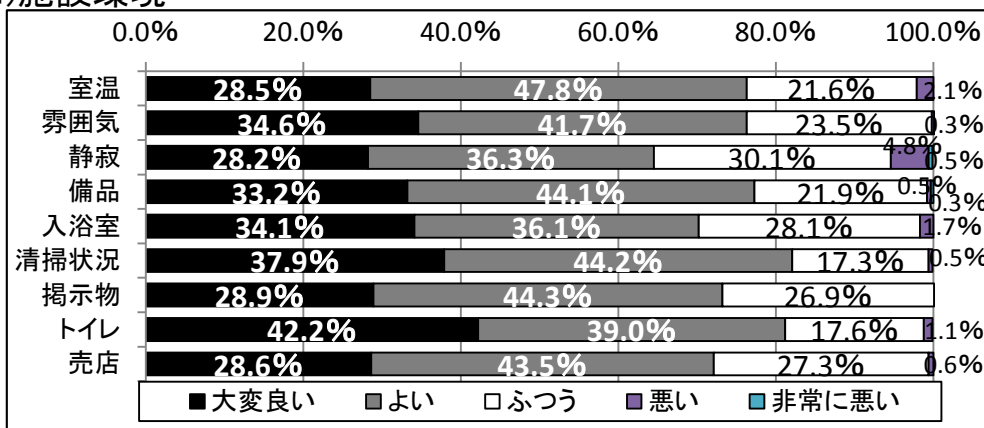
「よい」以上
令和元年度
92.6%
平成29年度
90.2%

(3)職員の対応



「よい」以上
令和元年度
82.9%
平成29年度
78.2%

(4)施設環境



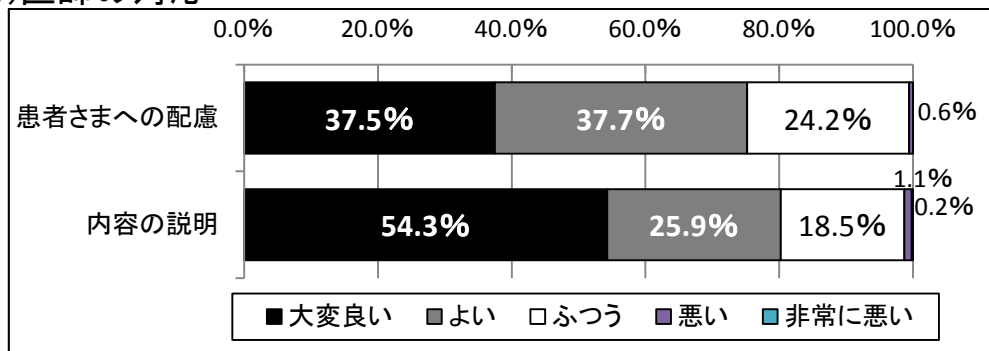
「よい」以上
令和元年度
74.9%
平成29年度
62.8%

②外来患者アンケート

- ・実施期間 令和元年8月
- ・回答者数・平均年齢 535件 62.0歳
- ・アンケート結果の一部(満足度に関する項目)

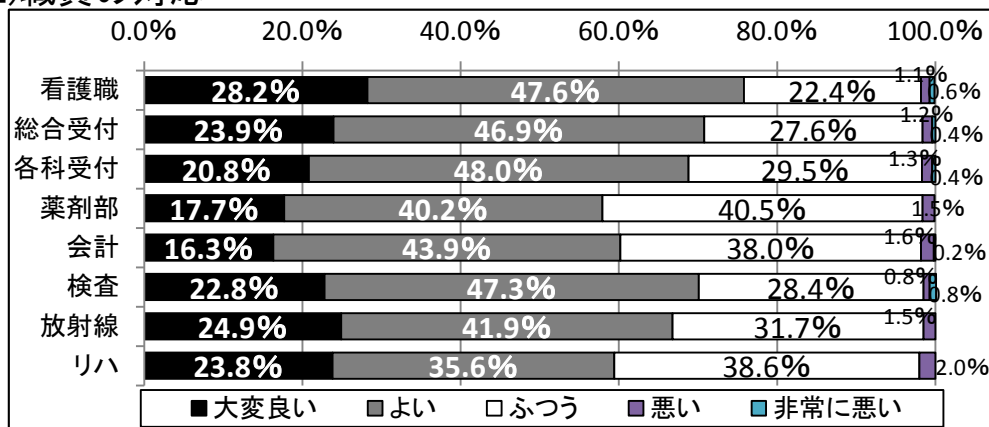
※H30アンケート未実施のためH29と比較

(1)医師の対応



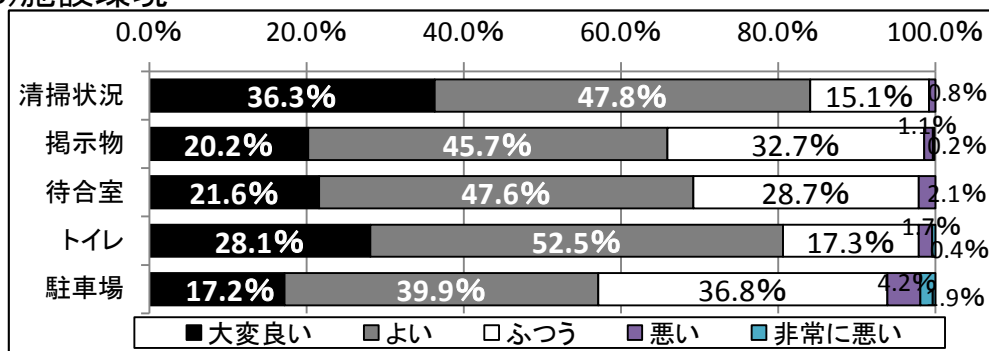
「よい」以上
令和元年度
77.6%
平成29年度
76.9%

(2)職員の対応



「よい」以上
令和元年度
67.4%
平成29年度
71.4%

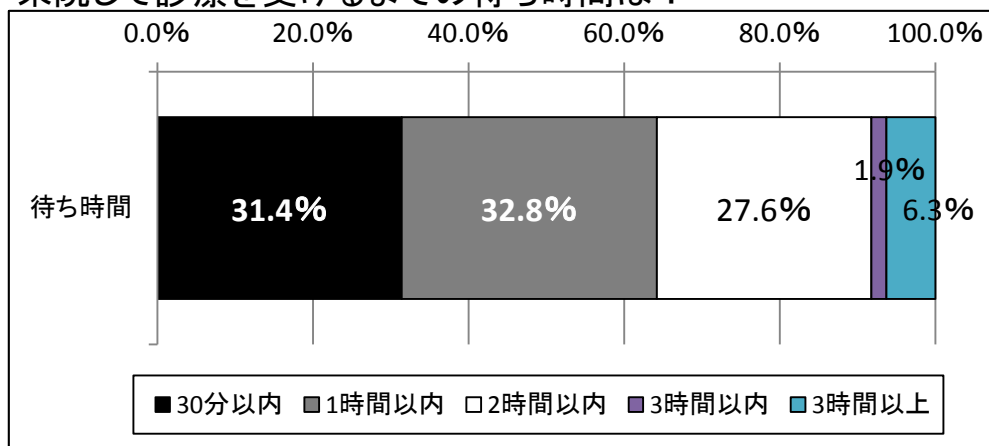
(3)施設環境



「よい」以上
令和元年度
71.7%
平成29年度
58.1%

(4)診察待ち時間

来院して診療を受けるまでの待ち時間は？



平均時間
令和元年度
57.1分
平成29年度
44.9分
グループ内同規模
59.2分
全グループ病院
48.3分

6. 経営健全化に係る指標

① 損益計算書(4月～9月)

(単位:千円)

科目	令和元年度 (a)	平成30年度 (b)	前年度比 (a)-(b)	増減率 %
医業収益 (A)	5,684,083	4,625,609	1,058,474	22.9
入院収益	3,371,298	2,969,520	401,778	13.5
外来収益	2,198,801	1,531,914	666,887	43.5
その他医業収益	113,984	124,175	▲ 10,191	▲ 8.2
うち室料差額収益	75,179	74,855	324	0.4
うち文書料・その他	92,628	84,332	8,296	9.8
うち保険等査定減	▲ 53,823	▲ 35,012	▲ 18,811	53.7
医業費用 (B)	5,114,244	4,045,457	1,068,787	26.4
給与費	2,454,444	2,093,841	360,603	17.2
材料費	1,873,299	1,366,859	506,440	37.1
委託費	245,954	222,887	23,067	10.3
経費	216,274	217,742	▲ 1,468	▲ 0.7
設備関係費	313,344	136,668	176,676	129.3
研究研修費	10,929	7,460	3,469	46.5
医業損益 (A)-(B)	569,839	580,152	▲ 10,313	▲ 1.8
医業外収益 (C)	156,311	144,491	11,820	8.2
うち受取利息	1	1	0	-
うち運営費補助金収益	121,758	116,974	4,784	4.1
うちその他医業外収益	34,552	27,516	7,036	25.6
医業外費用 (D)	11,622	44,988	▲ 33,366	▲ 74.2
経常損益 ((A)+(C))-((B)+(D))	714,528	679,655	34,873	5.1
臨時収益 (E)	0	0	0	-
臨時費用 (F)	0	0	0	-
税引前利益 ((A)+(C)+(E))-((B)+(D)+(F))	714,528	679,655	34,873	5.1
医業収支比率 (A)÷(B)×100	111.1	114.3	▲ 3.2	
経常収支比率 ((A)+(C))÷((B)+(D))×100	113.9	116.6	▲ 2.7	
給与費率 (給与費)÷(A)×100	43.2	45.3	▲ 2.1	
材料費率 (材料費)÷(A)×100	33.0	29.5	3.5	
経常収支比率 新改革プラン目標値(R1)	105.7			

(うち医業費用明細) (4月~9月)

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度		平成30年度		前年度比 (a)-(b)	増減率 %
	(a)	構成比 (%)	(b)	構成比 (%)		
医業費用	5,114,244	100.00	4,045,457	100.00	1,068,787	26.4
給与費	2,454,444	47.99	2,093,841	51.76	360,603	17.2
うち常勤職員給与	1,572,543	30.75	1,343,482	33.21	229,061	17.0
うち非常勤職員給与	343,017	6.71	292,591	7.23	50,426	17.2
うち法定福利費	257,564	5.04	219,709	5.43	37,855	17.2
うち賞与	254,014	4.97	194,190	4.80	59,824	30.8
材料費	1,873,299	36.63	1,366,859	33.79	506,440	37.1
うち医薬品費	1,292,020	25.26	824,949	20.39	467,071	56.6
うち医療消耗品費	372,272	7.28	331,454	8.19	40,818	12.3
うち検査材料費	121,712	2.38	103,079	2.55	18,633	18.1
委託費	245,954	4.81	222,887	5.51	23,067	10.3
うち検査委託費	29,690	0.58	26,189	0.65	3,501	13.4
うち給食委託費	31,800	0.62	29,400	0.73	2,400	8.2
うち医事委託費	19,498	0.38	18,159	0.45	1,339	7.4
うち清掃委託費	29,145	0.57	24,049	0.59	5,096	21.2
うち警備委託費	14,144	0.28	14,688	0.36	▲ 544	▲ 3.7
うち労務委託費	17,597	0.34	16,209	0.40	1,388	8.6
うち事務委託費	27,730	0.54	22,768	0.56	4,962	21.8
経費	216,274	4.23	217,742	5.38	▲ 1,468	▲ 0.7
うち消耗品費	6,591	0.13	12,571	0.31	▲ 5,980	▲ 47.6
うち事務用品費	8,518	0.17	13,999	0.35	▲ 5,481	▲ 39.2
うち光熱水道費	51,655	1.01	45,919	1.14	5,736	12.5
うち広告宣伝費	4,672	0.09	6,268	0.15	▲ 1,596	▲ 25.5
うち募集費	9,247	0.18	5,394	0.13	3,853	71.4
うち保険料	18,173	0.36	12,449	0.31	5,724	46.0
うち寄付金	42,500	0.83	55,020	1.36	▲ 12,520	▲ 22.8
うち支払手数料	31,325	0.61	24,679	0.61	6,646	26.9
設備関係費	313,344	6.13	136,668	3.38	176,676	129.3
うち機器貸借料	36,295	0.71	68,855	1.70	▲ 32,560	▲ 47.3
うち指定管理者負担金	140,760	2.75	0	0.00	140,760	皆増
うち減価償却費	4,659	0.09	12,370	0.31	▲ 7,711	▲ 62.3
うち修繕費	13,514	0.26	15,571	0.38	▲ 2,057	▲ 13.2
うち機器保守料	38,374	0.75	18,655	0.46	19,719	105.7
研究研修費	10,929	0.21	7,460	0.18	3,469	46.5

②貸借対照表

(単位:千円)

科 目	R1.9.30現在(A)	H30.9.30現在(B)	増減(A)-(B)
【流動資産】	【 2,851,777 】	【 2,041,398 】	【 810,379 】
現金預金	6,918	49,173	△ 42,255
医業未収入金	1,934,880	1,596,186	338,694
未収金	79,617	73,966	5,651
薬品	82,965	56,236	26,729
診療材料	883	1,741	△ 858
その他貯蔵品	1,420	101	1,319
前払費用	76,025	112,378	△ 36,353
仮払消費税	208,891	158,084	50,807
貸倒引当金	△ 16,804	△ 9,800	△ 7,004
大阪本部勘定	469,286	0	469,286
その他流動資産	7,696	3,333	4,363
【固定資産】	【 175,116 】	【 73,119 】	【 101,997 】
(有形固定資産)	(156,920)	(61,656)	(95,264)
建物	83,091	13,704	69,387
構築物	224	0	224
医療機器	68,214	37,654	30,560
その他	5,391	10,298	△ 4,907
(無形固定資産)	(3,865)	(1,649)	(2,216)
他無形固定資産	3,865	1,649	2,216
(投資他資産)	(14,331)	(9,814)	(4,517)
長期貸付金	13,667	9,800	3,867
その他	664	14	650
【繰延資産】	【 9,355 】	【 2,417 】	【 6,938 】
繰延消費税	9,355	2,417	6,938
資 産 合 計	3,036,248	2,116,934	919,314
【流動負債】	【 1,462,717 】	【 1,773,941 】	【 △ 311,224 】
買掛金	969,006	730,700	238,306
短期借入金	114,000	84,000	30,000
未払費用	27,742	29,737	△ 1,995
未払給与	93,434	81,316	12,118
未払金	65,513	179,966	△ 114,453
預り金	38,321	35,089	3,232
前受収益	8,917	108	8,809
仮受消費税	16,288	14,857	1,431
賞与引当金	129,496	112,884	16,612
大阪本部勘定	0	505,284	△ 505,284
【固定負債】	【 216,297 】	【 174,402 】	【 41,895 】
退職給付引当金	216,197	174,302	41,895
その他固定負債	100	100	0
負債の部計	1,679,014	1,948,343	△ 269,329
【積立金】	【 1,357,234 】	【 168,591 】	【 1,188,643 】
当期末処分利益 (うち当期純利益)	1,357,234 (714,518)	168,591 (679,655)	1,188,643 (34,863)
純資産の部計	1,357,234	168,591	1,188,643
負債純資産合計	3,036,248	2,116,934	919,314

令和元年度 進行管理(PDCA)チェックシート

兼経営評価シート

(対象期間:平成31年4月1日～令和元年9月30日)

評価対象	NO	評価項目	第7回 H30 4-3月		第8回 R1 4-9月
			自己 評価	答申	自己 評価
管理 (基本的事項)	1	建物・設備・備品は利用に支障をきたさないよう管理できているか	4	4	4
運営 (基本的事項)	2	施設利用者数の状況はどうか	4	4	4
	3	収支計画の達成状況はどうか	4	4	4
医療サービス	4	病院の理念及び基本方針の方向性は適切か、周知はされているか	3	3	4
	5	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成はできているか	4	4	4
	6	救急医療体制の整備は進められているか	4	4	4
	7	医療機器の更新、整備の取り組みは進められているか	4	4	4
	8	地域医療機関との連携強化はなされているか	3	3	3
施設利用 サービス	9	ホームページ等、広報・PRは効果的に実施できているか	4	4	4
	10	待ち時間は適切であったか	3	3	3
	11	施設利用利便性向上の取り組みや自主事業等の実施状況は	4	4	4
	12	職員の接遇について、適切に行われているか	3	3	3
危機管理	13	危機管理マニュアル作成や医療安全、情報管理の取り組み状況は	4	4	4
	14	災害時医療の体制整備の取り組みは進められているか	4	4	4
利用者の評価	15	患者アンケートを実施しているか、結果を運営に反映させているか	3	3	3
	16	提案ポストの意見に適切に対応できているか	3	3	4
評点		64点満点	58	58	60
合計点数		100点換算	91	91	94
総合評価		(S ・ AA ・ A ・ B ・ C)	S	S	S

評点の考え方	割合(%)	点数
優れている	86 ~ 100	4点
できている	71 ~ 85	3点
概ねできている	56 ~ 70	2点
やや劣っている	41 ~ 55	1点
劣っている	0 ~ 40	0点

総合評点の考え方	総合評価
合計点数 90点以上	S
" 80~90点未満	AA
" 70~80点未満	A
" 60~70点未満	B
" 60点未満	C

評価項目	1	建物・設備・備品は利用に支障をきたさないよう管理できているか。			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
P(プラン) 令和元年度 事業計画	4 建物、設備、器具等の維持管理 ・建物及び設備等を良好に維持。				
D(実施状況)	投書への対応例 ・温度計設置による空調管理 ・トイレ等の美化 ・車椅子トイレに荷物用の籠を導入		(前年度) ・台風21号の被害箇所の修繕		
C(自己評価の理由)	患者からの意見、投書にも迅速に対応し、適切な施設の維持管理を図った。				
A(今後の取り組み)	院内の美化に努め、患者、来院者にとって清潔で快適な空間を提供できるよう取り組んでいく。				
市のコメント	投書(清掃や施設の要望)にも、患者の快適性確保、事故防止のために迅速に対応できていた。				

評価項目	2	施設利用者数の状況はどうか。																		
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会															
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4																
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4															
P(プラン) 令和元年度 事業計画	令和元年度(4~3月) ・1日あたり入院患者数 292人(退院患者含む) (病床稼働率 95.0%) ・1日あたり外来患者数 890人																			
D(実施状況)	<診療実績> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1実績 (4-9月)</th> <th>R1計画 (4-3月)</th> <th>H30 (4-9月)</th> <th>H29 (4-9月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)</td> <td>310人 (100.9%)</td> <td>292人 (95.0%)</td> <td>294人 (95.8%)</td> <td>217人 (70.7%)</td> </tr> <tr> <td>②1日あたり外来患者数</td> <td>945人</td> <td>890人</td> <td>780人</td> <td>527人</td> </tr> </tbody> </table>						R1実績 (4-9月)	R1計画 (4-3月)	H30 (4-9月)	H29 (4-9月)	①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	310人 (100.9%)	292人 (95.0%)	294人 (95.8%)	217人 (70.7%)	②1日あたり外来患者数	945人	890人	780人	527人
	R1実績 (4-9月)	R1計画 (4-3月)	H30 (4-9月)	H29 (4-9月)																
①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	310人 (100.9%)	292人 (95.0%)	294人 (95.8%)	217人 (70.7%)																
②1日あたり外来患者数	945人	890人	780人	527人																
C(自己評価の理由)	100%に近い病床稼働率となっている。外来についても、日平均945人と順調な推移である。ただし、かかりつけ医政策との兼ね合いは今後の課題である。																			
A(今後の取り組み)	透析の本格実施や、救急科の常勤体制確保のため、引き続き医師確保に努める。また、病棟は満床の状態が続いているため、平均在院日数の短縮を目指し、より多くの患者様に当センターを利用いただけるよう体制を整備する。																			
市のコメント	入院・外来患者数ともに非常に好調である。救急医療の常勤対応など、さらなる体制整備に努められたい。																			

評価項目	3	収支計画の達成状況はどうか。																																
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																													
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4																														
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4																													
P(プラン) 令和元年度 事業計画	令和元年度 収支計画(4-3月) 経常収支比率105.7%																																	
D(実施状況)	<p><実績> 前年度と比較し、入院・外来患者数、診療単価ともに大幅に増加したことから、経常収支比率は113.9%となり、計画値を上回った。 ・診療実績(4月～9月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1実績</th> <th>R1計画(4-3月)</th> <th>H30</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率</td> <td>113.9%</td> <td>105.7%</td> <td>116.6%</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>②入院診療単価</td> <td>59,466円</td> <td>59,961円</td> <td>55,106円</td> <td>49,030円</td> </tr> <tr> <td>③外来診療単価</td> <td>18,761円</td> <td>16,500円</td> <td>15,849円</td> <td>12,649円</td> </tr> <tr> <td>④給与費比率</td> <td>43.2%</td> <td>50.1%</td> <td>45.3%</td> <td>57.6%</td> </tr> <tr> <td>⑤材料費比率</td> <td>33.0%</td> <td>31.4%</td> <td>29.5%</td> <td>25.5%</td> </tr> </tbody> </table>					R1実績	R1計画(4-3月)	H30	H29	①経常収支比率	113.9%	105.7%	116.6%	103.5%	②入院診療単価	59,466円	59,961円	55,106円	49,030円	③外来診療単価	18,761円	16,500円	15,849円	12,649円	④給与費比率	43.2%	50.1%	45.3%	57.6%	⑤材料費比率	33.0%	31.4%	29.5%	25.5%
	R1実績	R1計画(4-3月)	H30	H29																														
①経常収支比率	113.9%	105.7%	116.6%	103.5%																														
②入院診療単価	59,466円	59,961円	55,106円	49,030円																														
③外来診療単価	18,761円	16,500円	15,849円	12,649円																														
④給与費比率	43.2%	50.1%	45.3%	57.6%																														
⑤材料費比率	33.0%	31.4%	29.5%	25.5%																														
C(自己評価の理由)	入院患者・外来患者の増による医業収益の増等から、前年度に引き続き健全経営を実施できている。																																	
A(今後の取り組み)	救急受入れの強化や、在院日数の短縮により、さらなる効率化を目指したい。																																	
市のコメント	入院・外来の利用状況に比例して収支も好転し、経常収支比率も良好な業績である。本年度からは企業債の償還が始まり経費増となるが、引き続き安定的な経営基盤の確立に努められたい。																																	

評価項目	4	病院の理念及び基本方針の方向性は適切か、周知はされているか。			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
P(プラン) 令和元年度 事業計画	1 基本方針 市民の生命と健康を守る公立病院としての使命を果たすため、救急医療への取り組み等、6つの基本方針を掲げる。				
D(実施状況)	①24時間対応の救急医療への取り組み、②患者中心の質の高い医療、③がん等の高度度専門医療の提供、④地域医療の充実、⑤災害時医療、⑥人材育成を基本方針として、これらの達成に向けて、職員意識の向上を図っている。				
C(自己評価の理由)	救急医療、高度専門医療の提供や地域医療機関との連携強化へ、職員一丸となり取り組むことができている。 さらには、本年度から府・市関係機関とともに災害時医療訓練(トリアージ訓練等)の実施に至ったのは、職員意識の向上によるところが大きい。				
A(今後の取り組み)	引き続き、基本方針の達成のために、職員意識の向上を図っていく。				
市のコメント	朝礼等により職員への周知が図られている。 基本方針⑤災害時医療の体制整備のため、11月23日(祝)に災害訓練を実施することが決定し、6つの基本方針すべてに道筋がつけられた。				

評価項目	5	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成はできているか															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4													
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4												
P(プラン) 令和元年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ③診療機能の向上 ・4月から常勤医師を97名に増員(前年度比15名増員)予定。																
D(実施状況)	<p><職員数の状況 常勤換算> (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H31.4</th> <th>H30.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医師</td> <td>110.45</td> <td>92.60</td> </tr> <tr> <td>②看護部</td> <td>310.93</td> <td>273.30</td> </tr> <tr> <td>③医療技術</td> <td>116.10</td> <td>81.41</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師 17.85 人の増員 看護師 37.63 人の増員 医療技術職 34.69 人の増員</p>						H31.4	H30.4	①医師	110.45	92.60	②看護部	310.93	273.30	③医療技術	116.10	81.41
	H31.4	H30.4															
①医師	110.45	92.60															
②看護部	310.93	273.30															
③医療技術	116.10	81.41															
C(自己評価の理由)	総合医療センターの開設初年度であった前年度に引き続き、医師を始めとするスタッフの増員を図ることができた。																
A(今後の取り組み)	現在非常勤医の対応となっている診療科(救急科など)の常勤化を図るため、引き続き医師確保に努める。																
市のコメント	医師の大幅な増員、それに伴う診療科数の倍増について高く評価している。引き続き、スタッフの確保と育成に努められたい。																

評価項目	6	救急医療体制の整備は進められているか															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4													
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4												
P(プラン) 令和元年度 事業計画	3 政策的医療 ①救急医療 ・市内の他の救急告示病院と協力しながら、市外搬送件数の減少をめざす。																
D(実施状況)	<p><救急医療実施日></p> <p>○内科系・外科系 H30.4より実施(終日)</p> <p>○小児科 泉州医療圏内で輪番制で実施 実施日:毎週火曜日、第2、4、5土曜日</p> <p><救急医療(各年度4-9月)></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療</td> <td>7,404</td> <td>6,729</td> <td>5,080</td> </tr> <tr> <td>うち救急搬送</td> <td>1,816</td> <td>1,713</td> <td>999</td> </tr> </tbody> </table> <p>救急医療の全面再開により、受入件数が増加している。</p>						R1	H30	H29	救急医療	7,404	6,729	5,080	うち救急搬送	1,816	1,713	999
	R1	H30	H29														
救急医療	7,404	6,729	5,080														
うち救急搬送	1,816	1,713	999														
C(自己評価の理由)	救急の全面再開を継続し、前年度に引き続き救急件数、救急搬送件数ともに増加した。																
A(今後の取り組み)	常勤の救急医を確保し、更なる救急体制の充実を目指す。																
市のコメント	今後も、救急受入件数を拡大し、市外搬送の減少に取り組み、目標達成に向け努力されたい。																

評価項目	7	医療機器の更新、整備の取り組みは進められているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
P(プラン) 令和元年度 事業計画	4 建物、設備、器具等の維持管理 ・必要性、緊急性を十分に見極め、更新を行う。				
D(実施状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室用医療機器の購入(予定) 手術室6の使用開始準備 (前年度) ・歯科口腔外科用医療機器の購入 ・CT、MRIの増設 				
C(自己評価の理由)	患者数の増加に対応できるよう、手術室6の使用開始に向けて、医療機器の選定、市による入札を実施中。				
A(今後の取り組み)	診療科の増設や患者数の増加などタイミングを見極め、随時更新を図る。				
市のコメント	患者数の増加等による即応的な機器購入はもとより、中長期的な医療機器の更新等について、引き続き市と調整を密にされたい。				

評価項目	8	地域医療機関との連携強化はなされているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	3	3	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
P(プラン) 令和元年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ④地域医療機関との連携 ・紹介患者の受け入れ、逆紹介に努め 地域医療の向上に貢献します。				
D(実施状況)	<p><取り組み> 地域の医療機関への情報提供を継続実施。 令和元年11月2日(土)に地域の医療機関との連携会開催予定。</p> <p><紹介率・逆紹介率> 紹介率 … R01:65.7%、H30:60.8% 逆紹介率 … R01:57.5%、H30:32.0%</p>				
C(自己評価の理由)	継続的に地域医療機関との連携を進め、紹介率・逆紹介率のいずれも向上している。				
A(今後の取り組み)	地域医療機関への訪問や、意見交換会の開催など、病診連携を強化し、紹介率、逆紹介率の向上を目指す。				
市のコメント	紹介率・逆紹介率のいずれも向上しているが、特に紹介率が大きく改善している。逆紹介率を高め、より一層の病診連携の強化に努められたい。				

評価項目	9	ホームページ等、広報・PRは効果的に実施できているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
P(プラン) 令和元年度 事業計画	5 患者サービス向上 ②ホームページ、新聞広告等、広報の充実を行い、 病院情報の効果的なPRを行います。				
D(実施状況)	・市広報において、「医療講演」の案内を掲載するなど、病院情報を発信。市民向けの「健やかいずみ」や地域医療機関向けの「地域医療連携室だより」での情報提供とともに、グループでの「徳洲新聞」で総合医療センターにおける様々な取り組みをPRする。				
C(自己評価の理由)	各種情報を積極的に広報し、病院の情報発信を効果的に行うことができた。				
A(今後の取り組み)	継続してホームページの内容充実を行う。 「夏休み病院見学ツアー」や「医療講演」に力を入れて取り組み病院をPRする。				
市のコメント	市広報、新聞、ホームページ等の広報媒体を活用し、情報を積極的に掲載するなど、PR活動ができている。				

評価項目	10	待ち時間は適切であったか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	3	3	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
P(プラン) 令和元年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集 を行い、サービス向上に努めます				
D(実施状況)	患者アンケートの結果、新病院となり患者増による待ち時間の増加がみられる。 提案ポストでは、診察・検査・会計での待ち時間に対する苦情が寄せられた。				
C(自己評価の理由)	想定以上の来院者数であり、各段階で患者様を待たせてしまっている状況である。				
A(今後の取り組み)	待ち時間の紹介患者の円滑な受入や、逆紹介の向上に努める等、待ち時間の解消を目指す。				
市のコメント	今後は、待ち時間の有効活用方策の検討や、紹介、逆紹介の増についても積極的に取り組まれない。				

評価項目	11	施設利用利便性向上の取り組みや自主事業等の実施状況は			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
P(プラン) 令和元年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ⑥健康増進の取り組み ・人間ドック・特定健診などの各種検診の充実を行う。 ・医療スタッフによる院外での医療講演会				
D(実施状況)	・夏休み親子病院見学ツアーを開催(中学・高校生9人、保護者9人参加)。 ・医療講演会、出前講座を継続実施。 ・人間ドックのスタッフを増員し、利用者増を図った。				
C(自己評価の理由)	昨年度の取り組みを継続するとともに、自主事業を拡大した。 人間ドックの利用者数を増加させた。				
A(今後の取り組み)	人間ドック(ふるさと納税返礼品)の実施及び特定健診受診の呼びかけを、和泉市のホームページを使って案内する。				
市のコメント	医療講演等を行うなど、サービス向上に努めている。 また、病院見学ツアーで好評を得るなど、病院のPR活動を積極的に行っている。				

評価項目	12	職員の接遇について、適切に行われているか			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	3	3	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
P(プラン) 令和元年度 事業計画	5 患者サービス向上 ③職員の接遇について、研修や個別指導を行います。				
D(実施状況)	患者アンケート調査による意見の収集を行っている。 ご意見箱にしばしば接遇に関する苦情が寄せられており、院内委員会で検討を行った後、指導、教育の徹底を継続し、接遇の向上を図っている。				
C(自己評価の理由)	接遇に関する指摘は、院内委員会において、情報共有を行い、院内全体の取り組みとして改善を図っている。				
A(今後の取り組み)	今後も引き続き、院内委員会による研修をはじめとし、指導、教育を継続していく。				
市のコメント	接遇に関する苦情が増加した。職員への個別指導や、苦情からの改善策の吸い上げにより患者サービスを向上させ、苦情の減少に努められたい。				

評価項目	13	危機管理マニュアル作成や医療安全、情報管理の取り組み状況は												
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会									
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4										
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4									
P(プラン) 令和元年度 事業計画	1 基本方針 ② 患者中心の安全で質の高い医療の提供													
D(実施状況)	<p><基本的事項> 各種マニュアル作成済。 医療安全、情報管理についても適切な対応ができている。</p> <p><報告件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>937</td> <td>725</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>院内委員会で内容を検討し、職員意識の向上を図っている。</p>						令和元年度	平成30年度	インシデント	937	725	アクシデント	12	12
	令和元年度	平成30年度												
インシデント	937	725												
アクシデント	12	12												
C(自己評価の理由)	インシデント・アクシデントは前年度と比較して増加しており、職員の意識向上が図られている。													
A(今後の取り組み)	マニュアルについては、定期的な見直し作業を継続していく。 医療安全対策についても、引き続き、職員意識の向上を図っていく。													
市のコメント	各種マニュアルを整備し、医療事故等については市とも情報を共有するなど、適切な対応ができている。 インシデント・アクシデントに関する職員意識の向上が図られている。													

評価項目	14	災害時医療の体制整備の取り組みは進められているか				
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会	
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4		
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4	
P(プラン) 令和元年度 事業計画	3 政策的医療 ③災害時医療 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修、訓練を実施、災害発生時には傷病者を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。					
D(実施状況)	11月23日(祝)に災害訓練を実施。府・市の関係機関とともに準備を行っている。 医療センター内の災害時の外来・入院患者への対応、トリアージ訓練を行う。 また、行政機関との連絡体制の確認を行い、災害時の医療体制整備を準備する。					
C(自己評価の理由)	関係機関との連携を図り、災害時医療の体制づくりを図っている。					
A(今後の取り組み)	現在、市や府(保健所)と連携した災害対策訓練の実施を調整中。 引き続き、災害時医療訓練を実施し、課題検討に努めていく。					
市のコメント	災害に備えた訓練・研修を行っている。 政策医療のひとつとして災害時医療を重視しており、今後の取り込みに期待したい。					

評価項目	15	患者アンケートを実施しているか、結果を運営に反映させているか																					
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																		
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	3	3																			
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	2	3																		
P(プラン) 令和元年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。																						
D(実施状況)	<p>入院患者を対象とした簡易なアンケートを実施している。年度末には外来・入院患者を対象とした大規模なアンケート調査を実施予定である。結果が出次第、運営の改善につなげていきたい。</p> <p>【参考】 R01 患者満足度(アンケートで「良い」以上) (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>医師</th> <th>看護師</th> <th>その他職員</th> <th>施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>R01</td> <td>89.5</td> <td>92.6</td> <td>82.9</td> <td>74.9</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>R01</td> <td>77.6</td> <td colspan="2">67.4</td> <td>71.7</td> </tr> </tbody> </table>							医師	看護師	その他職員	施設	入院	R01	89.5	92.6	82.9	74.9	外来	R01	77.6	67.4		71.7
		医師	看護師	その他職員	施設																		
入院	R01	89.5	92.6	82.9	74.9																		
外来	R01	77.6	67.4		71.7																		
C(自己評価の理由)	アンケートを実施済。前年度から職員の対応や施設への満足度が向上している。一方で患者増に伴う待ち時間の長さ、個別意見については今後の課題となっている。																						
A(今後の取り組み)	患者の意見を真摯に受け止め、サービス向上につなげていく。																						
市のコメント	外来待ち時間対策、患者から寄せられた個別の意見についての対応を進め、医療環境を整え、患者満足度のさらなる向上につなげられたい。																						

評価項目	16	ご意見箱等の意見に適切に対応できているか			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	令和元年度(4-9月)	R1.11.18	4	4	
	(前回)平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
P(プラン) 令和元年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。				
D(実施状況)	<p>提案ポストにいただいた意見を2日に1度、回収し、迅速に院長が確認できるようにしている。</p> <p>ご意見への回答は、院内掲示を行っている。</p>				
C(自己評価の理由)	院内委員会において、内容の検討をし、迅速に病院長に報告し対応している。				
A(今後の取り組み)	引き続き、投書内容を委員会で検討し、院内に周知していきたい。				
市のコメント	投書の要望事項について、適切な進行管理が行われている。引き続き、患者意見の収集に努め、サービスの向上に努められたい。				

評点の考え方	割合(%)	点数
優れている	86 ~ 100	4点
できている	71 ~ 85	3点
概ねできている	56 ~ 70	2点
やや劣っている	41 ~ 55	1点
劣っている	0 ~ 40	0点

総合評価 令和元年度 (4月~9月)	自己評価	60	合計(60点 / 64点) 合計評価点(94点 / 100点)
	市の評価	60	合計(60点 / 64点) 合計評価点(94点 / 100点)
	委員会の評価		

総合評価 平成30年度 (4月~3月)	自己評価	58	合計(58点 / 64点) 合計評価点(91点 / 100点)
	市の評価	57	合計(57点 / 64点) 合計評価点(89点 / 100点)
	委員会の評価	58	合計(58点 / 64点) 合計評価点(91点 / 100点)

参考資料1

和泉市消防本部 救急搬送件数(4月～9月)

<重症度別>

(括弧内は構成比 単位:人、%)

		死亡	重篤	重症	中等症	軽症	その他	令和元年度 合計(A)	平成30年度 合計(B)	前年同月比 (A)-(B)
市内	和泉市立総合医療センター	15	0	61	106	1,018	1	1,201 (26.3)	1,143 (25.5)	58 + 5.1%
	府中病院	27	1	70	148	1,337	2	1,585 (34.7)	1,704 (38.0)	▲ 119 ▲ 7.0%
	光生病院	0	0	6	2	95	0	103 (2.3)	91 (2.0)	12 + 13.2%
	咲花病院	0	0	7	12	82	0	101 (2.2)	112 (2.5)	▲ 11 ▲ 9.8%
	大阪母子医療センター	0	0	1	14	28	0	43 (0.9)	49 (1.1)	▲ 6 ▲ 12.2%
	その他	0	0	4	2	9	0	15 (0.3)	14 (0.3)	1 + 7.1%
	市内計	42	1	149	284	2,569	3	3,048 (66.7)	3,113 (69.4)	▲ 65 ▲ 2.1%
市外	岸和田徳洲会病院	4	0	15	44	399	0	462 (10.1)	502 (11.2)	▲ 40 ▲ 8.0%
	馬場記念病院	0	0	11	26	216	0	253 (5.5)	212 (4.7)	41 + 19.3%
	堺市立総合医療センター	1	0	5	13	97	2	118 (2.6)	74 (1.6)	44 + 59.5%
	ベルランド病院	0	0	8	20	77	0	105 (2.3)	112 (2.5)	▲ 7 ▲ 6.3%
	近大医学部付属病院	1	0	9	16	69	0	95 (2.1)	55 (1.2)	40 + 72.7%
	岸和田市民病院	1	0	6	5	77	0	89 (1.9)	81 (1.8)	8 + 9.9%
	泉大津市立病院	0	0	2	5	42	0	49 (1.1)	43 (1.0)	6 + 14.0%
	高石藤井病院	0	0	1	3	5	0	9 (0.2)	45 (1.0)	▲ 36 ▲ 80.0%
	その他	3	0	16	50	274	0	343 (7.5)	249 (5.6)	94 + 37.8%
	市外計	10	0	73	182	1,256	2	1,523 (33.3)	1,373 (30.6)	150 + 10.9%
合計		52	1	222	466	3,825	5	4,571 (100.0)	4,486 (100.0)	85 + 1.9%

参考資料 2

診療科別 紹介患者数(4月～9月)

(単位:人)

	R01		H30		増減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
呼吸器内科	826	10.9	884	10.8	▲ 58	▲ 6.6
消化器内科	758	10.0	745	9.1	13	1.7
放射線科	636	8.4	447	5.5	189	42.3
整形外科	599	7.9	610	7.5	▲ 11	▲ 1.8
歯科口腔外科	587	7.8	-	-	皆増	-
小児科	510	6.7	403	4.9	107	26.6
循環器内科	351	4.6	421	5.1	▲ 70	▲ 16.6
泌尿器科	297	3.9	510	6.2	▲ 213	▲ 41.8
肝胆膵内科	289	3.8	272	3.3	17	6.3
皮膚科	269	3.6	255	3.1	14	5.5
脳神経内科	261	3.5	558	6.8	▲ 297	▲ 53.2
内分泌・糖尿病内科	251	3.3	726	8.9	▲ 475	▲ 65.4
リウマチ・膠原病内科	243	3.2	342	4.2	▲ 99	▲ 28.9
耳鼻いんこう科	237	3.1	271	3.3	▲ 34	▲ 12.5
脳神経外科	225	3.0	217	2.7	8	3.7
外科	217	2.9	190	2.3	27	14.2
婦人科	170	2.2	137	1.7	33	24.1
形成外科	155	2.0	95	1.2	60	63.2
総合内科	140	1.9	53	0.6	87	164.2
腫瘍内科	135	1.8	111	1.4	24	21.6
血液内科	133	1.8	431	5.3	▲ 298	▲ 69.1
乳腺外科	64	0.8	135	1.7	▲ 71	▲ 52.6
腎臓・透析内科	59	0.8	112	1.4	▲ 53	▲ 47.3
呼吸器外科	45	0.6	79	1.0	▲ 34	▲ 43.0
眼科	42	0.6	84	1.0	▲ 42	▲ 50.0
救急科	27	0.4	33	0.4	▲ 6	▲ 18.2
心臓血管外科	26	0.3	32	0.4	▲ 6	▲ 18.8
精神科	11	0.1	23	0.3	▲ 12	▲ 52.2
	7,563		8,176		▲ 613	▲ 7.5

診療科別単価 前年度比較(4月～9月)

(常勤医師配属診療科のみ)

	入院	
	R01	H30
外科	80,752円	70,399円
血液内科	80,508円	73,387円
循環器内科	75,356円	64,913円
脳神経外科	74,304円	62,837円
整形外科	70,764円	64,786円
形成外科	69,239円	62,096円
婦人科	65,223円	60,437円
消化器内科	56,641円	54,447円
歯科口腔外科	56,008円	-
泌尿器科	51,643円	55,404円
脳神経内科	50,469円	55,431円
小児科	50,043円	50,366円
腫瘍内科	49,910円	48,623円
リウマチ・膠原病内科	43,579円	43,773円
呼吸器内科	43,267円	43,204円
肝胆膵内科	41,444円	38,611円
皮膚科	40,113円	36,116円
耳鼻いんこう科	39,408円	42,441円
内分泌・糖尿病内科	37,721円	36,098円
	59,466円	55,106円

	外来	
	R01	H30
腫瘍内科	82,708円	66,343円
血液内科	68,714円	62,464円
脳神経内科	62,950円	48,348円
放射線科	37,224円	41,080円
リウマチ・膠原病内科	29,433円	23,177円
呼吸器内科	20,056円	14,815円
泌尿器科	16,702円	15,910円
心臓血管外科	16,438円	11,895円
消化器内科	15,237円	16,153円
外科	13,611円	12,384円
脳神経外科	12,848円	9,634円
婦人科	12,804円	10,851円
内分泌・糖尿病内科	12,493円	14,474円
小児科	11,860円	9,363円
肝胆膵内科	11,527円	10,755円
循環器内科	11,065円	10,695円
腎臓・透析内科	10,296円	16,484円
歯科口腔外科	9,382円	-
精神科	9,149円	9,131円
整形外科	8,062円	7,687円
形成外科	7,119円	5,882円
耳鼻いんこう科	6,287円	6,417円
眼科	5,029円	5,763円
皮膚科	4,360円	4,007円
	18,761円	15,849円

府下公立病院との比較

①平成30年度 決算状況比較

病床利用率	H30決算
和泉	97.3%
八尾	91.8%
池田	90.7%
りんくう総合医療センター	89.9%
箕面	88.8%
堺	87.8%
東大阪	85.9%
豊中	83.9%
藤井寺	80.9%
岸和田	79.8%
吹田	77.5%
ひらかた	76.1%
柏原	75.8%
泉大津	70.1%
貝塚	69.7%
阪南	65.3%
平均	82.0%

平均在院日数	H30決算
貝塚	7.9日
ひらかた	9.8日
堺	10.0日
八尾	10.0日
泉大津	10.5日
藤井寺	10.6日
岸和田	10.9日
池田	10.9日
豊中	11.0日
東大阪	11.2日
箕面	11.4日
りんくう総合医療センター	11.6日
和泉	12.0日
吹田	12.4日
柏原	13.7日
阪南	14.1日
平均	11.1日

経常収支比率	H30決算
和泉	112.8%
岸和田	103.6%
阪南	102.6%
りんくう総合医療センター	102.0%
八尾	100.6%
東大阪	100.2%
堺	99.8%
ひらかた	99.7%
池田	99.3%
貝塚	97.9%
藤井寺	97.0%
豊中	96.9%
泉大津	95.7%
柏原	95.2%
箕面	90.7%
吹田	80.5%
平均	98.4%

入院診療単価	H30決算
りんくう総合医療センター	84,208円
堺	74,091円
八尾	67,450円
岸和田	64,980円
豊中	61,319円
池田	61,292円
東大阪	60,293円
貝塚	57,257円
和泉※	56,946円
ひらかた	56,504円
箕面	56,478円
吹田	54,718円
泉大津	49,334円
阪南	48,768円
柏原	46,498円
藤井寺	40,572円
平均	58,794円

外来診療単価	H30決算
堺	23,794円
藤井寺	20,859円
岸和田	19,469円
八尾	18,953円
東大阪	17,722円
豊中	16,975円
和泉	16,447円
池田	16,433円
吹田	15,174円
りんくう総合医療センター	13,952円
箕面	13,459円
貝塚	12,892円
ひらかた	11,389円
泉大津	10,898円
阪南	10,301円
柏原	9,717円
平均	15,527円

※入院診療単価について

$$\frac{\text{入院収益}}{\text{在院患者数} + \text{退院患者数}}$$
 に修正

※令和元年度 大阪府・兵庫県・和歌山県公立病院事務(局)長合同研修会資料より。

②平成29年度 決算状況比較

病床利用率	H29決算
りんくう総合医療センター	92.0%
箕面	90.3%
池田	90.2%
八尾	89.9%
堺	89.5%
豊中	86.8%
東大阪	84.4%
吹田	83.3%
藤井寺	82.6%
岸和田	80.5%
和泉	74.9%
柏原	78.4%
貝塚	73.2%
泉大津	72.7%
枚方	71.0%
阪南	70.3%
平均	81.9%

平均在院日数	H29決算
貝塚	8.6日
枚方	9.8日
堺	9.9日
藤井寺	10.0日
八尾	10.1日
岸和田	11.2日
箕面	11.3日
東大阪	11.3日
豊中	11.6日
りんくう総合医療センター	11.6日
池田	11.9日
泉大津	12.1日
和泉	13.4日
吹田	14.1日
柏原	15.1日
阪南	17.1日
平均	11.8日

経常収支比率	H29決算
岸和田	102.2%
八尾	101.1%
和泉	100.7%
貝塚	100.1%
りんくう総合医療センター	100.1%
堺	99.5%
阪南	98.9%
豊中	98.8%
池田	98.8%
吹田	97.4%
藤井寺	96.7%
東大阪	95.2%
柏原	95.1%
泉大津	93.8%
箕面	90.5%
枚方	90.5%
平均	97.5%

入院診療単価	H29決算
りんくう総合医療センター	83,567円
堺	75,216円
八尾	67,437円
岸和田	62,851円
豊中	58,580円
池田	58,178円
東大阪	57,289円
貝塚	56,638円
箕面	54,789円
枚方	53,874円
吹田	51,411円
和泉※	48,899円
泉大津	46,014円
阪南	43,589円
柏原	43,121円
藤井寺	39,874円
平均	56,333円

外来診療単価	H29決算
堺	23,567円
藤井寺	21,581円
岸和田	18,753円
八尾	17,468円
東大阪	16,623円
豊中	16,529円
池田	16,105円
吹田	14,016円
りんくう総合医療センター	13,974円
和泉	13,657円
箕面	13,180円
貝塚	12,590円
枚方	11,185円
泉大津	10,210円
阪南	9,857円
柏原	9,029円
平均	14,895円

※入院診療単価について

$$\frac{\text{入院収益}}{\text{在院患者数} + \text{退院患者数}}$$
 に修正

※令和元年度 大阪府・兵庫県・和歌山県公立病院事務(局)長合同研修会資料より。